

わくわくエコ教室

2月21日、荒砥小学校体育館を会場に白鷹町美しい郷づくり推進会議によるわくわくエコ教室を開催し、町内の小学生の親子約80人の方にご参加をいただきました。

荒砥高校の佐藤まり子校長（山形県サイエンス・ナビゲーター）を講師にお招きし、目に見えない空気の力を感じる実験を行いました。

参加者はグループに分かれ、美しい郷づくりの委員と中高生ボランティアサークルあさがおのメンバーと一緒に、ペットボトルを空気の力で飛ばしたり、ピンポン玉を宙に浮かせたりしました。

熱した空き缶を水につけると、缶がぺっこりとつぶれ、子どもたちは目をまるくして驚き、また、湯飲み茶わんの中でマッチを燃やすと、茶碗がぴったりくっつく実験では、成功して歓声が上がりました。



最後に、地球のまわりの空気は、ほんの薄い層しかないことを教えていただき、子どもたちは真剣にお話しを聞きました。空気がないと私たちは生活できないことを改めて実感し、自分にできることを親子で考えるエコ教室となりました。

【お子さんの声】

・空気をうすくすると、マシュマロが大きくなったのがすごかったです。ペットボトルのロケットは、家でもできそうなのでやってみたいです。(小3女子)

・空気はいろいろな遊びに役立ったり、環境に良く、いろいろなものに役立っていることがわかりました。これからもいろいろ知りたいです。今日はとても楽しかったです。(小5女子)

・今日のテーマは空気でしたが、改めて空気を実感しました。私もこの地球にある空気を大切に使っていきたいと思いました。先生のご説明もおもしろかったです。またこのような機会があったらやりたいです。(小6女子)

【保護者の声】

・身近な道具を使って分かりやすく実験することができて、子どもと楽しく参加することができました。

・マシュマロは子どもより夢中になってしまいました。

・普段、空気があることや空気ですべて生かされていることに気づいていないので、この教室で空気の存在や、空気の大切さ、空気の機能など勉強させていただきました。子どもも目をきらきらさせて感動していたのを見て、体験の大切さも知りました。とても楽しく、ためになる教室でした。

— 問い合わせ —

白鷹町美しい郷づくり推進会議
(事務局 町民課くらし環境係)

☎85-6131



廃食用油回収事業

ご家庭からの廃食用油の回収について、今年度も町内小中学校5校に協力をいただきました。

登校時に、ペットボトルに入れた廃食用油を持参していただき、担当の委員が回収しました。合計で180リットルを回収し、全量がBDF(生物由来油からつくられるディーゼルエンジン用燃料)に生まれ変わりました。

生徒・児童の皆さん、保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

エコドライブ

10月19日に十王地区コミュニティセンターにてエコドライブ講習会を開催し、15人の方とエコドライブのポイントを学び、実際の運転をして効果を実感していただきました。

12月17日は、白鷹町職員運転者会の会員を対象に開催し、17人の方に受講していただきました。

委員研修

11月4日、ごみゼロの日実行委員会の皆さんとともに、置賜広域行政事務組合千代田クリーンセンターの見学に行ってきました。

燃えるごみは、以前は生ごみが多かったのが、今はプラスチック包装の汚れたものが多いということや、適時に焼却炉の補修を行う必要があることなどの話を聞きました。プラスチック包装類の分別作業場では、職員の手作業で資源化できないものを分別しているところを見学しました。

ごみは家から出して終わりではなく、その後に適切な処理ができるよう、分別を行うことが排出者の責任であることを再確認しました。